

# 奨学金制度

日本大学では、学生の皆さんが経済面でも安心して学修に取り組めるよう、豊富な奨学金制度を設けています。

POINT 1

60種類以上の  
制度を用意

POINT 2

大多数が  
返還不要の  
奨学金

POINT 3

給付額総額  
全国トップレベル

## 2023年度 本学独自の奨学金制度

### ■奨学金(給付型)

(人数は2022年度採用数)

種別	内容	給付額	人数
日本大学特待生	学部・通信教育部・短期大学部の学業成績・人物ともに優秀な2年次生以上の学生を対象にした制度です。	甲種 授業料1年分相当額の半額及び図書費12万円 乙種 授業料1年分相当額の半額	72名 389名
日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)	在学生を対象とした制度で、経済的理由により学費等の支弁が困難であり、修学意志が堅固で優秀な資質を持っている者に給付します。	30万円	333名
日本大学古田奨学金	本学の興隆発展に寄与された故古田重二良先生の功績を顕彰して設置され、大学院学生を対象として、学業及び人物ともに優秀で、健康な者に給付します。	20万円	19名
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金	故ロバート・F・ケネディ米国司法長官が寄付した基金をもとに設置され、大学院学生を対象として、学業及び人物ともに優秀で、健康な者に給付します。	20万円	19名
日本大学小澤奨学金	故小澤三男氏が寄付した基金をもとに設置され、法学部・経済学部・商学部学生のうち、国家試験受験志望者に給付します。	12万円	9名
日本大学オリジナル設計奨学金	オリジナル設計株式会社が寄付した基金をもとに設置され、理工学部・生産工学部・工学部学生のうち、国家公務員採用総合職試験受験志望者に給付します。	20万円	3名
日本大学創立100周年記念 外国人留学生奨学金	外国人留学生を対象とした制度で、大学院・学部・短期大学部に在学し、学業成績・人物が優秀で健康であり、特待生ほか本学の奨学金を受けていないことが条件です。ただし、国費外国人留学生・外国政府派遣留学生・本学と大韓民国大使館との合意書に基づく留学生は対象としません。	学部及び短大 授業料1年分相当額の半額	30名
		大学院博士前期課程及び修士課程 授業料1年分相当額の半額	8名
		大学院博士後期課程及び博士課程 授業料1年分相当額の半額	4名

### ■奨学金(給付型(教育ローン利子分)・貸与型)

(人数は2022年度採用数)

種別	内容	給付額	人数
日本大学校友会奨学金(奨学金付教育ローン)	校友会の準会員で、人物に優れ、経済的理由により学費の支弁が困難な者(もしくは父母等)が、本学指定の金融機関と教育ローン契約を締結し、利子相当額を校友会が給付することにより、在学中の元金返済を据え置くことができます。	在学中の利子相当額	—

## 2023年度 学部独自の奨学金制度

### ■奨学金(給付型)

(人数は2022年度採用数)

種別	内容	給付額	人数
法学部奨学金	[第1種]学業成績が特に優秀で(特待生に準ずる成績の者)、人物が優れている者に対し選考のうえ給付します。	授業料1年分相当額の40%	学部12名 大学院4名
	[第2種]優良な資質を持っており、経済的理由により学費の支弁が困難な者に対し選考のうえ給付します。	学部第一部生 30万円 学部第二部生 15万円	25名 5名
	[第3種]学業成績が優秀で、人物が優れており、海外学術交流協定校等に正規の留学生として留学を許可され、専門的研究を志す者に対し選考のうえ給付します。	往復航空運賃(エコノミークラス)を上限	2名
法学部永田奨学金	第5代総長、故永田菊四郎博士からの寄付金を基金とし運用されている奨学金で、昭和34年度に設置されたものです。この奨学金は、国家試験(司法試験・国家公務員採用総合職試験等)の受験を志し、学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し選考のうえ給付します。	12万円	4名
法学部山岡奨学金	第3代総長、故山岡萬之助博士のご遺族からの寄付金を基金とし、また、山岡記念文化財団からの寄付金により運用されている奨学金で、昭和62年度に設置されたものです。この奨学金は、国家試験(司法試験・国家公務員採用総合職試験等)の受験を志し、学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し選考のうえ給付します。	12万円	3名
法学部杉林奨学金	元法学部教授、故杉林信義博士のご遺族からの寄付金を基金とし運用されている奨学金で、平成27年度に設置されたものです。この奨学金は、弁理士試験の受験を志し、学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し選考のうえ給付します。	12万円	15名
法学部校友会奨学金	[第1種]優良な資質を持っており、経済的理由により学費の支弁が困難な者に対し選考のうえ給付します。	学部第一部生 30万円 学部第二部生 15万円	5名 2名
	[第2種]日本大学法科大学院に入学を許可され、次年度に入学する者。また、卒業後も校友会活動に貢献できる者に対し給付します。		15名
法学部後援会奨学金	法学部後援会からの寄付金により運用される奨学金です。法学部後援会費を納入している者が対象となります。 [第1種]学業成績が優秀で、人物が優れており、経済的理由により学費の支弁が困難な者に対し選考のうえ給付します。	授業料1年分相当額の半額	19名

※給付型奨学金とは、返還不要の奨学金です。貸与型奨学金は返還が必要な奨学金です。

■奨学金(給付型)

(人数は2022年度採用数)

種別	内容	給付額	人数	
法学部	大学院法務研究科奨学金	大学院法務研究科学生のうち、1年次は入学試験の成績が特に優秀で人物が優れている者、2年次以降は前年度第1種奨学金学生であり、学業成績が特に優秀な者に対し給付します。	第1種 既修未修 授業料相当額	8名 7名
		大学院法務研究科学生のうち、1年次は入学試験の成績が優秀で人物が優れている者、2年次以降は前年度第2種奨学金学生であり、学業成績が優秀な者に対し給付します。	第2種 既修未修 授業料相当額の半額	10名 4名
		大学院法務研究科2年次以降の学生で学業成績が特に優秀で、人物が優れている者に対し給付します。	第3種 既修未修 授業料相当額	2名 3名
		大学院法務研究科2年次以降の学生で学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し給付します。	第4種 既修未修 授業料相当額の半額	7名 1名
		大学院法務研究科1年次の本大学出身の学生で入学試験の成績が優秀で人物が優れている者に対し給付します。	第5種 既修未修 50万円	3名 —
文学部	文学部奨学金	文学部2年次以上または大学院文学研究科・総合基礎科学研究科若しくは理工学研究科(地理学専攻)の学生のうち、第1種は学業及び人物ともに優秀な者、第2種は外国人留学生で学業及び人物ともに優秀な者、第3種は文学部2年次以上の学生のうち、修学意志が堅固な者で、不測の事態発生等の経済的事由により、学費等の支弁が困難な者にそれぞれ給付します。	第1種 学部 24万円 大学院 40万円	54名 4名
			第2種 学部 24万円 大学院 40万円	2名 1名
			第3種 学費相当額を限度	—
文学部後援会奨学金	文学部後援会からの支援を受け、文学部または大学院文学研究科・総合基礎科学研究科若しくは理工学研究科(地理学専攻)の学生のうち、経済的な理由により学費等の支弁が困難な者に給付します。	24万円	100名	
文学部校友会奨学金	文学部校友会からの支援を受け、文学部または大学院文学研究科・総合基礎科学研究科若しくは理工学研究科(地理学専攻)の学生のうち、経済的な理由により学費等の支弁が困難な者に給付します。	24万円	15名	
経済学部	経済学部奨学金	第1種は、経済的理由により修学が困難且つ、入学時の成績が特に優秀な学生に給付します。第2種は、第1種奨学金学生として採用された学生が、進級後も経済的理由により修学が困難且つ、引続き学業成績が優秀な学生に給付します。第3種は、私費外国人留学生で、学業及び人物ともに優秀な学生に給付します。第4種は、経済的理由により修学が困難且つ、学業及び人物が優秀な学生に給付します。	第1種 授業料相当額 第2種 授業料相当額の半額 第3種 24万円 12万円(後期採用者) 第4種 48万円 24万円(後期採用者)	— — 3名 7名 —
		第1種は、経済的理由により修学が困難且つ、学業及び人物が優秀な学生に給付します。第2種は、自然災害や諸般の事情により特に家計が急変し修学が困難且つ学業及び人物が優秀な学生に給付します。	第1種 30万円 15万円(後期採用者) 第2種 48万円	122名 — 9名
		経済学部2年生以上の学生のうち、学業及び人物が優秀な学生に給付します。	12万円	9名
		大学院経済学研究科に在籍し、将来研究職を志す者に、研究を奨励し、優れた人材を育成するため給付します。	博士前期課程 授業料及び施設設備 資金相当額 博士後期課程 授業料、施設設備資金相当額 及び図書費40万円	— 2名
	経済学部校友会資格等取得奨励金	大学が指定した各種資格等を取得した学生に奨励金を給付します。	資格ごとに設定	131名
	商学部	商学部後援会奨学金	商学部後援会からの寄付金を基とし、商学部学生のうち、経済的理由により修学困難な者に対し給付します。	15万円または30万円
商学部校友会奨学金		商学部校友会からの寄付金を基とし、商学部・大学院商学研究科の学生のうち、経済的理由により修学困難な者に対し給付します。	15万円または30万円	19名
商学部校友会準会員奨学金		校友会準会員年会費を原資として、経済的理由により修学困難な商学部・大学院商学研究科の学生に対し給付します。	15万円または30万円	—
商学部奨学金		商学部・大学院商学研究科の学生のうち、経済的理由により修学困難な者に対し給付します。	15万円または30万円	17名
商学部奨学金		商学部2年次以上の学生のうち、学業成績が特に優秀な者に対し給付します。	授業料相当額の半額	9名
商学部特別研究生奨学金		大学院商学研究科博士前期課程又は後期課程に在籍する者で、将来研究教育職を志す者で、十分な資質を有すると認められる者の研究を奨励し、優れた人材を育成するため給付します。	第1種 博士前期課程 授業料・ 施設設備資金 相当額及び図書費 第2種 博士後期課程	— —
商学部資格等取得奨励金		大学で指定した各種資格等を取得した者に対し奨励金を給付します。	資格ごとに設定	234名
芸術学部	芸術学部奨学金	芸術学部学生のうち、優良な資質をもちながら経済的理由により修学が困難である外国人留学生以外の学生	第1種 30万円を限度	21名
		芸術学部・大学院芸術学研究科の学生のうち、専攻分野において特に優れた業績を認められた学生	第2種 30万円・50万円	1名
		芸術学部・大学院芸術学研究科の学生のうち、災害に罹災し甚大な被害を受けた場合、もしくは不慮の理由で家計が急変し学費等の支弁が困難である外国人留学生以外の学生	第3種 授業料相当額を限度	6名
		芸術学部・大学院芸術学研究科の学生のうち、留学等により海外渡航する外国人留学生以外の学生	第4種 20万円を限度	—
国際関係学部	国際関係学部奨学金	国際関係学部2年次生以上または大学院国際関係研究科学生及び短期大学部(三島校舎)2年次生、短期大学部専攻科学生のうち、第1種は学業及び人物ともに優秀な外国人留学生以外の学生、第2種は緊急の経済的理由により学費等の支弁が困難な者(第2種のみ1年次生も含む)、第3種は外国人留学生で学業及び人物ともに優秀な者に対して選考により給付します。	第1種 授業料1年分の半額相当 第2種 授業料1年分の半額相当 第3種 授業料1年分の半額相当	3名 — 1名
		柳川三郎先生が寄付した基金をもとに設置され、国際関係学部学生及び大学院国際関係研究科学生のうち、第1種は主としてドイツにおいて研究、研修する者に対して選考により給付します。	第1種 留学に在籍1年分の相当額	—
		自宅通学不可能な者、または遠隔地からの新幹線定期券通学の者に対して年2回選考により給付します。※高等教育の修学支援新制度による支援を受けていないこと。	新幹線定期券通学補助 12万円(半期) アパート補助 12万円(半期)	— 87名
	国際関係学部派遣交換留学生、ティーチング・インターンシップ・プログラム派遣学生、ダブル・ディグリー・プログラム派遣留学生、中期留学生の中から選考により給付します。※高等教育の修学支援新制度による支援を受けていないこと。	プログラムにより異なる	—	
	国際関係学部短期大学部(三島校舎)の学生のうち、国際関係学部校友会からの支援を受け、第1種は2年次以上に在学中で学業成績が優秀な者、第2種は1年次に在学中で、入学時成績及び最終学校の学業成績が優秀な者、且つ第1・2種とも人物が優れている者に対し選考により奨学金を給付します。(特待生等他の奨学金を受けている者は除きます)	第1種 25万円 第2種 25万円	7名 3名	
	日本大学三島同窓会奨学金	日本大学三島同窓会からの支援を受け、国際関係学部学生、大学院国際関係研究科学生、短期大学部(三島校舎)学生、短期大学部専攻科生のうち、国家試験(外務省専門職員試験・国家公務員試験)合格者または学術・文化・スポーツ・社会活動等において顕著な成果を取り、著しく大学の名誉を高めた者に対して選考により給付します。	2万円～6万円	—

■奨学金(給付型)

(人数は2022年度採用数)

種別		内容	給付額	人数
理工学部	理工学部奨学金	第1種は理工学部2年次以上、大学院理工学研究科(地理学専攻を除く)の全学年及び短期大学部(船橋キャンパス)2年次に所属する学生のうちから、学業及び人物が優秀で、学費支弁が困難な者に対し給付します。第2種は前記の条件を満たした外国人留学生を対象に給付します。	第1種 学部・短大 40万円 大学院 50万円 第2種 学部・短大 40万円 大学院 50万円	32名 90名 2名 5名
	理工学部後援会奨学金	理工学部後援会の支援のもと、理工学部、大学院理工学研究科(地理学専攻を除く)及び短期大学部(船橋キャンパス)の全学年の学生のうちから、学費支弁が困難で、後援会費が納入済みであることを条件に給付します。	50万円	40名
	理工学部校友会奨学金	理工学部校友会が寄付した基金をもとに設置され、理工学部及び短期大学部(船橋キャンパス)の学生のうちから、学業成績及び人物ともに優秀で、貸与奨学金を受けている卒業見込者を対象に給付します。	20万円	10名
	理工学部天野工業技術研究所奨学金	公益財団法人天野工業技術研究所からの寄付金のもと、大学院理工学研究科(地理学専攻を除く)博士後期課程に入学した学生(外国人留学生を除く)で、学業成績及び人物ともに優秀な者を対象として3年間給付します。	150万円/年	4名
	理工学部株式会社フジタ奨学金	株式会社フジタからの寄付金のもと、大学院理工学研究科(地理学専攻を除く)博士前期課程の学生で、建築施工を研究し、優れた研究成果を上げるために奨学金を必要とし、学業成績及び人物ともに優秀な者を対象として給付します。	50万円	4名
生産工学部	生産工学部奨学金	生産工学部学生、大学院生産工学研究科学生のうち、第1種は外国人留学生以外の学生で、特に学業及び人物優秀な者、第2種は優秀な資質をもちながら、経済的理由など諸般の事情により学業継続が困難な者、第3種は外国人留学生で学業及び人物ともに優秀な者に対し給付します。	第1種 50万円 第2種 前期 30万円 後期 30万円 第3種 50万円	9名 2名 —
	生産工学部校友会奨学金	生産工学部校友会が寄付した基金をもとに設置され、生産工学部学生及び大学院生産工学研究科学生のうち、経済的理由から修学困難な者に対し給付します。	10万円・20万円・30万円	4名
工学部	工学部奨学金	第1種は大学院工学研究科学生のうち、学業成績及び人物が優秀な者、第2種は工学部1年次生のうち、入学時の成績が優秀な者、第3種は外国人留学生で工学部学生、大学院工学研究科学生で学業成績及び人物が優秀な者、第4種は工学部学生のうち、学業成績及び人物が優秀な者に対し給付します。	第1種 20万円 第2種 授業料相当額 第3種 20万円 第4種 10万円	6名 — — 12名
	工学部後援会奨学金	工学部後援会が寄付した基金をもとに設置され、工学部生のうち、経済的理由により修学が困難な者に対し給付します。	前期 25万円 後期 25万円	40名
	工学部校友会奨学金	工学部校友会が寄付した基金をもとに設置され、工学部学生、大学院工学研究科学生のうち、経済的理由により学費等の支弁が困難な者に対し給付します。	25万円	—
	工学部五十嵐奨学金	工学部4年次生で、学業成績及び人物が優秀な者に対し給付します。	10万円	12名
	工学部北桜奨学金	工学部教職員団体が寄付した基金をもとに設置され、工学部学生のうち、緊急の経済的理由により学費等の支弁が困難な者に対し給付します。	24万円	4名
	医学部	医学部土岐奨学金	故土岐勝人氏が寄付した基金をもとに設置され、医学部及び大学院医学研究科学生のうち、学業及び人物が優秀な者に対し給付します。	20万円
医学部永澤奨学金		故永澤滋博士の功績を顕彰して医学部同窓会が寄付した基金をもとに設置され、医学部学生のうち、学業及び人物が優秀な者に対し給付します。	20万円	—
医学部同窓会60周年記念医学奨励金		医学部同窓会が寄付した基金をもとに設置され、学業及び人物ともに優秀で、入学後第一保証人の事故等により学業の継続が困難な学生に対し給付します。	30万円	1名
医学部同窓会就学奨学金		医学部同窓会が寄付した基金をもとに設置され、医学部5・6年次に在籍し学部指定の金融機関と教育ローン契約を締結し、また学費等の支弁が困難であり、学業及び人物がともに優れている者に給付する。	利子相当額	—
歯学部	歯学部佐藤奨学金	本学部の創設者佐藤運雄先生が寄付した基金をもとに設置され、第1種は歯学部及び附属歯科技工・附属歯科衛生専門学校2年次以上の学生のうち、特に学業成績が優秀で人物が優れた者に、第2種は歯学部2年次以上の学生で課外活動・学校行事等に顕著な功績がある者に、第3種は大学院歯学研究科2年次以上の学生(原則在学期間1回)のうち、人物が優れ、海外で開催される学会において研究発表を行う者に対し給付します。	第1種 10万円 20万円 第2種 10万円 第3種 海外 50万円以内	25名 5名 2名 —
	歯学部同窓会奨学金	歯学部同窓会が寄付した基金をもとに設置され、歯学部2～6年次生のうち学業が優秀で人物が優れた者及び課外活動に顕著な成果を取った者に対し給付します。また、大学院歯学研究科2～4年次生のうち国際貢献及び国際交流の発展に寄与した者または学部学生への学習指導貢献が顕著である者に対し給付します。	10万円 5万円	— 3名
	松戸歯学部	故鈴木勝博士(第6代総長)が寄付した基金をもとに設置され、第1種は松戸歯学部2～6年次生、大学院松戸歯学研究科学生2～4年次生のうち学業及び人物が優秀な者に、第2種は松戸歯学部及び大学院松戸歯学研究科の学生で経済的理由により学費の支弁が困難であり、学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し給付します(特待生は除きます)。	第1種 10万円 第2種 24万円	学部30名 大学院5名 学部2名
生物資源科学部	生物資源科学部奨学金	生物資源科学部1年次生のうち、入学試験の成績並びに高等学校在学時の学業及び人物ともに優秀な者に対し給付します。	授業料・施設設備資金相当額	16名
	生物資源科学部大森奨学金	故大森智堪先生が寄付した基金をもとに設置され、生物資源科学部学生(最終年次生)のうち、学業及び人物ともに優秀な者に対し給付します。	20万円	12名
	生物資源科学部特別研究生研究奨学金	大学院生物資源科学研究科及び獣医学研究科に在籍する者で、将来教育・研究職を志す者に、研究を奨励し、優れた人材を育成するため給付します。	前期課程 授業料1年分相当額の半額 後期課程・博士課程 授業料1年分の相当額	11名
	生物資源科学部後援会奨学金	生物資源科学部後援会からの支援を受け、経済的理由により修学困難な者に対し給付します。	25万円以上60万円以内	15名
	生物資源科学部校友会奨学金	生物資源科学部校友会からの支援を受け、経済的理由により修学困難な者に対し給付します。	25万円以上60万円以内	13名
薬学部	薬学部奨学金	第1種は大学院薬学研究科学生のうち、学業成績が特に優秀で、人物が優れている者、第2種は薬学部学生及び大学院薬学研究科学生のうち、経済的理由により学費等の支弁が困難であり、学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し給付します。	第1種 50万円 第2種 30万円	4名 9名
	薬学部校友会奨学金	薬学部校友会が寄付した基金をもとに設置され、薬学部学生及び大学院薬学研究科学生のうち、経済的理由により学費等の支弁が困難であり、学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し給付します。	20万円	2名
	薬学部校友会準会員奨学金	薬学部及び大学院薬学研究科に在学中の準会員で、経済的理由により学費等の支弁が困難であり、学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し給付します。	30万円	7名



## ■奨学金(給付型)

(人数は2022年度採用数)

種別	内容	給付額	人数	
薬学部	薬学部校友会(桜薬会)奨学金	人物が優れた薬学部学生及び大学院薬学研究科学生のうち、学業成績優秀で学費の支弁が困難な者に対し給付します。	20万円	5名
	薬学部マツモトキヨシ奨学金	マツモトキヨシ&カンパニーからの支援を受け、薬学部学生及び大学院薬学研究科学生のうち、学業成績優秀で人物が優れ、学費の支弁が困難な者に対し給付します。	30万円	6名
	薬学部岩崎壽毅奨学金	I&Hからの支援を受け、薬学部学生のうち、経済的理由により学費等の支弁が困難であり、学業成績が優秀で、人物が優れている者に対し給付します。	30万円	10名
通信教育部	通信教育部奨学金	通信教育部2年次生以上の正科生のうち、学業及び人物が優秀で経済的理由から修学困難な者に対し給付します。	授業料1年分相当額を上限	12名
	通信教育部坂東奨学金	故坂東長光氏が寄付した基金をもとに設置され、通信教育部2年次生以上の正科生のうち、学業及び人物ともに優秀な者に給付します。	授業料1年分相当額の半額を上限	1名
	総合社会情報研究科坂東奨学金	故坂東長光氏が寄付した基金をもとに設置され、大学院総合社会情報研究科に在学中の学生で、学業及び人物ともに優秀な者に給付します。	13万円	1名

## ■奨学金(給付型(教育ローン利子分)・貸与型)

(人数は2022年度採用数)

種別	内容	給付額	人数
医学部特定医療奨学金	医学部5年次以上に在籍し、学業及び人物が優秀で、臨床研修後、医学部付属病院において特定医療を担当する診療科(小児科・産科・救急科など)の医師を志す者。(返還免除有)	60万円	1名
医学部同窓会就学奨学金	医学部同窓会が寄付した基金をもとに設置され、医学部5・6年次に在籍し不測の事態により学費等の支弁が困難であり、学業及び人物がともに優れている者に貸与する。	学費相当額	—
歯学部佐藤奨学金	歯学部の学生(高学年)のうち、学費の支弁が困難で、学業が優秀で、人物が優れた者に対して貸与します。	授業料相当額以内	—
松戸歯学部鈴木奨学金	松戸歯学部5年次以上の学生で、学業成績及び人物が良好で、学費の納入が困難な者に対して貸与します。	授業料相当額以内	—

## ■教育充実料の減免(2022年度)

対象	減免額	人数
医学部学生	教育充実料の範囲内で減免	1名
歯学部学生		3名
松戸歯学部学生		—

次の条件をすべて備えている者。  
 ①高等学校在学中の学業成績が優秀であること。  
 ②本大学の入学試験において特に優秀な成績をおさめていること。  
 ③人物が優れ、かつ健康であること。

## ■授業料の軽減(2022年度)

対象	免除額
大学院医学研究科学生 ※横断型医学専門教育プログラム(専門医取得プログラム)を選択した者	授業料の半額

## 高等教育の修学支援新制度

(授業料等減免と給付型・貸与型奨学金)

文部科学省では、しっかりとした進路への意識や修学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学、短期大学等に進学できるチャンスを確保できるよう、令和2年4月から高等教育の修学支援新制度を実施しています。 <https://www.mext.go.jp/kyufu/>

### 1 申込時期

高校在学中の春に申し込みをすると、秋ごろには高校などを通じて生徒本人に“予約採用の採用候補者決定通知”が通知されます。

大学入学後でも年2回、春<前半期>と秋<後半期>に日本学生支援機構へ申し込むことができます。

日本大学では、入学選抜出願時に日本学生支援機構から通知された予約採用候補者決定通知を基に給付奨学金の支援区分の申告、提出することにより初年度納入金を減額して納入することができます。

※入学選抜出願時に決定通知を提出できなかった場合には、日本大学入学後に学部の学生課又は教学サポート課へお申し出ください。

(対象の有無については、日本学生支援機構「進学資金シミュレーター」  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/document/shogakukin-simulator.html>  
 にて、おおよその目安が確認できます。)

### 2 独立行政法人日本学生支援機構奨学金(給付型)

- 採用方法 予約採用、在学採用、家計急変
- 対象 大学・短期大学又は専修学校専門課程への進学希望者又は大学等在学生
- 基準 学力・家計
- 給付金額(一例)(大学・短期大学部)

支援区分	自宅(月額)	自宅外(月額)
第I区分	38,300	75,800
第II区分	25,600	50,600
第III区分	12,800	25,300

※給付奨学金と第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与月額が制限されます。

※家計状況によっては、給付奨学金額が異なります。  
 ※詳しくは、インターネットで「日本学生支援機構(給付型)」を検索し、ご確認ください。  
 ※通信教育部においては、年1回、支援区分に応じて支給されます。

### 3 授業料減免(入学金・授業料)

① 申込時期 入学選抜出願時又は大学等在学中

② 減免金額(一例)(大学)

支援区分	減免額(年額)	
	授業料	入学金
第I区分	700,000円	260,000円
第II区分	466,700円	173,400円
第III区分	233,400円	86,700円

※授業料減免額は、支援区分毎に定められた減免額の範囲内で減免されます。※支援区分は、毎年10月に更新されます。※詳しくは、インターネットで「高等教育の修学支援新制度」を検索し、ご確認ください。

### 4 独立行政法人日本学生支援機構奨学金(貸与型)

- 採用方法 予約採用、在学採用、緊急応急採用
- 対象 大学・短期大学又は専修学校専門課程への進学希望者又は大学等在学生
- 基準 人物・学力・家計
- 貸与種別 第一種奨学金(無利子) 第二種奨学金(有利子) 入学時特別増額貸与奨学金(有利子)
- 貸与金額(一例)(大学・短期大学部)

(1)第一種奨学金(無利子)

	貸与月額	
	最高月額以外	最高月額
自宅通学	2,3,4万円	5万4千円
自宅外通学	2,3,4,5万円	6万4千円

※最高月額の貸与を受ける場合は、最高月額以外の貸与を受ける場合は別の家計基準が設けられています。

(2)第二種奨学金(有利子)

貸与月額
2~12万円(1万円刻み)

(3)入学時特別増額貸与奨学金

入学時のみ
10~50万円(10万円刻み)

※貸与月額12万円を選択した場合は、医学科・歯学科は4万円、獣医学科・薬学科は2万円増額して貸与を受けることができます。

※入学時のみの貸与奨学金です。※第一種奨学金及び第二種奨学金とは異なる家計基準が設けられています。※詳しくは、インターネットで「日本学生支援機構(貸与型)」を検索し、ご確認ください。

### 5 問い合わせ先

予約採用は、現在通学している高等学校等。予約採用以外は、日本大学入学後に各学部の学生課又は教学サポート課へお問い合わせください。